

構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！



今月の担当者



田中



秋田谷

2014年(平成26年)7月28日発行  
再処理企業協議会 広報部  
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字弥栄平1-5  
再処理企業センターB棟  
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488



再処理企業協議会

## 暑い季節 (〃) 朝食をしっかり食べて乗り切ろう！

### 第1回 ダーツ大会 結果

5月9日～11日の昼休みを利用して、再処理企業協議会主催の第1回ダーツ大会が開催されました。大会期間中は、会場をX11とX15の2か所を使用し36チーム 108名の参加者とギャラリーで賑いました。

＜ 大会4日間を通じた成績は次のとおり ＞

団体1位 ATSC(株)	合計 399点
々 2位 チームSNK	合計 384点
々 3位 チームとまちゆうby クリエイト	合計 374点

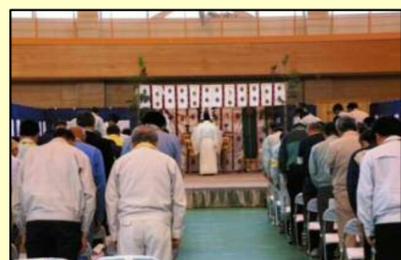
個人1位 立花 雅輝 新日本空調(株)	198点
々 2位 甲田 大星 (株)日立パワーソリューションズ	162点
々 3位 逢坂 幸也 三和テクノサービス (株)	155点

詳細は会報さいくる第2号にて詳しくお知らせします。

### 安全祈願祭開催

7月8日(火) 10:00よりH1前体育館において、日本原燃安全推進協議会主催の安全祈願祭が執り行われました。

当日は日本原燃(株)の役員、各事業部工場長、各事業部センター長をはじめ、各協力会社の代表者が一同に集い、安全に対する一体感を深めました。



安全作業に願いをこめて

## 平成26年度 日本原燃安全大会

「明るく、楽しく、元気よく、そして安全第一」

- ◆日本原燃(株)工藤社長の挨拶より(一部を抜粋)  
労働災害の低減活動に留まらず、何故0にできなかったかを掘り下げて解析する必要性と、災害0に向けて一丸となった活動を提唱されました。
- ◆記念講演：東京大学院教授 岡本 孝司 氏  
「原子力発電の意義と必要性」より  
サイトに勤務する皆さんひとりひとりがセンサーとなって、施設の不調を感知し、事故を未然に防ぐ活動を推し進めることが重要である、と云う言葉が心に強く残った講演でした。



7月16日 14:00～  
スワン一大ホール



日本原燃(株) 工藤社長挨拶



### 第1回 再処理企業協議会杯 ゴルフコンペ結果

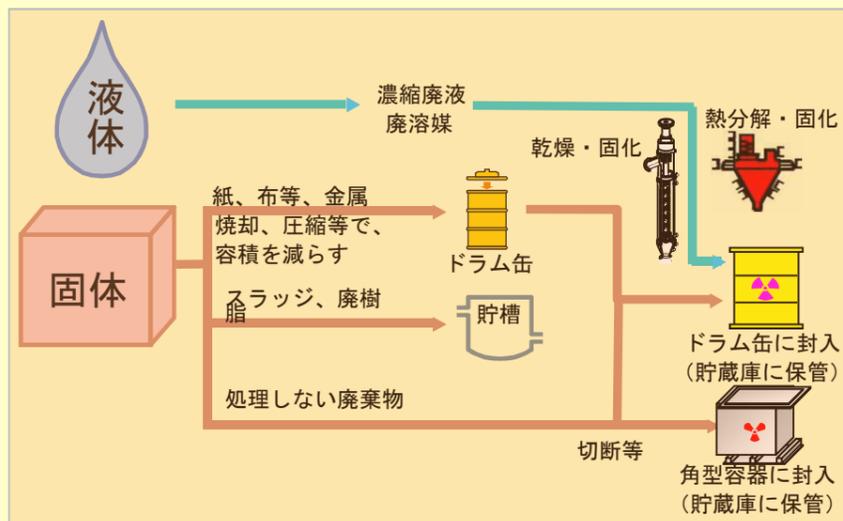
開催日 : H26. 7. 19 (土)  
場所 : 下北スリーハンドレッドGC  
参加者 : 55名  
競技方法 : ダブルペリア方式

<<速報>> (敬称略)  
◆優勝 : 海老澤 雅紀  
out: 46 in: 47 HDCP: 22.8 NET: 70.2  
◆準優勝 : 今野 博之  
out: 51 in: 49 HDCP: 27.6 NET: 72.4  
◆第3位 : 菅原 晴夫  
out: 39 in: 41 HDCP: 7.2 NET: 72.8  
◆ベストグロス賞 : 山本 幸雄  
out: 34 in: 37 Gross 71

詳細は会報さいくる第2号に掲載します。

## ミニ工場紹介 <共用施設部>

お疲れ様です。日頃から当社事業へご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。共用施設部の森榮です。共用施設部では、その名称からストレートに何をやっている部なのか判りづらいかもかもしれませんが、再処理工場全体で共用する施設の運転や設備の維持・管理等を行っています。具体的には、共用施設部には、「廃棄物管理課」、「ユーティリティ課」及び「輸送技術課」の3課があり、以下のような再処理工場全体に跨る業務を行っています。



- ◆廃棄物管理課  
工場内各施設にて発生する低レベル放射性廃棄物の処理・貯蔵とそれらの設備の維持・管理
- ◆ユーティリティ課  
工場内各施設へのユーティリティ(電気、蒸気、燃料油、冷却水、圧縮空気、試薬、水等)の供給とそれら設備の維持・管理
- ◆輸送技術課  
事業所内外への運搬(輸送)管理



森榮 部長

これらの業務は、ともすれば円滑に行われることが当たり前と思われがちですが、各課における適切な日々の運転や設備の維持・管理の基に成り立っていることを、この機会に強調しておきたいと思えます。これからも、これらの業務をトラブルなく円滑に実施することにより、再処理工場全体の安全・安定操業に貢献できるよう、頑張っていきたいと考えています。

## お知らせ

- <施設見学会予定>  
◆六ヶ所村次世代エネルギーパーク見学会 9月/中旬
- <プロセス教育>  
◆脱硝施設編 10月中旬

- <行事予定>  
◆会報さいくる第2号 発行
- ◆ボーリング大会 10月頃

## 編集後記

世界中が湧いたW杯ブラジル大会が、下馬評の高かったドイツが優勝して幕を閉じた。サッカーに疎い小生でさえ、日本のレベルに世界との隔たりを感じた大会だったように思う。そんな中、南米の国では自国が敗戦する度に暴動や略奪が発生し、日本でも大きく報道されていた。過去にはオウンゴールした選手が自国で射殺される事件も起きている。「こんな暑いサポーターの想いがサッカー王国の基盤になっている。」と、したり顔の解説者(怒)手前味噌になるが、悔しさを堪えて黙ってゴミ拾いするサポーターを見習ってほしいものだ。  
さて、いよいよお盆の時期である。若いころは夏休みのイベントでしかなかったが、年々むこうへの距離が縮まる我が身としては、墓参りにも力が入る。冬は神頼み、そして夏は先祖様、仏様にしっかり家内安全をお願いしておくことを忘れずに…